

(タイトル)

## 八千代町議会「タブレット端末を導入」

(目的)

議会の ICT 活用の推進と議会資料のペーパーレス化及び議会情報や災害情報の収集と共有をするとともに、様々な会議のオンライン化を目指すためタブレット端末を導入する。

(事業概要)

○タブレット端末：Apple 社製「iPad Air」10.9 インチ

Wi-Fi+Cellular モデル

導入台数：15 台（議員 14 台、議会事務局 1 台）

契約方式：レンタル方式（5 年間）

通信事業者：NTTドコモ



○クラウド型ファイル共有システム：

東京インタープレイ株式会社製「サイドブックスSideBooks」

議員・議会事務局のタブレット、町三役・各課パソコン等にインストール

研 修 会：タブレット端末操作研修会、SideBooks 研修会開催



タブレット端末操作研修会の様子

(導入の特徴)

八千代町の導入の特徴は、議長や議会運営委員長、ICT活用や議会資料のデジタル化に積極的な議員が中心となり、他の議員や執行部も巻き込んだ活動を強力に展開したため、短期間で導入することができた。

特に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、会議の開催中止が相次ぎ、議員間の情報交換や町からの情報提供に支障が出ていたことも情報共有の大切さを痛感するひとつの要因になった。

(工夫点)

- ・初期設定時に議員活動に役立つアプリケーションを事前インストール

(zoom、スケジュール管理、八千代町アプリ、ヤフー防災情報等)

- ・初期設定時に議員活動に役立つインターネットサイトを事前登録

(茨城県、八千代町、八千代町議会、町例規集、町議会会議録等)

(具体的なメリット)

- ・膨大な紙資料の印刷、とじ込み、配布、差し替え作業が容易に可能。

- ・資料のデジタル化により収納スペースの確保、検索機能による迅速な閲覧、文字の拡大が可能。

- ・チャット機能による各議員への情報伝達スピードが向上。

- ・ビデオ通話アプリを利用し遠隔地でも表情を見ながら会議が可能。

(今後について)

本年9月議会からタブレット端末の持ち込みを許可して、従来の紙資料とあわせて試験的にデジタル版の資料の提供を開始し、来年9月議会からを目標に議会資料の完全デジタル化を進めていきたい。

(中山議長コメント)

町議会でも ICT の活用推進、議会資料のデジタル化への対応は、重要な課題と認識している。

タブレット端末を活用して議会資料のデジタル化を進めるとともに災害情報をはじめ、様々な情報を効率的に収集・共有が可能になるため、活発な議論に役立てていきたい。

(宮本議会運営委員長コメント)

タブレット端末でいつでもどこでも情報を共有し、資料の確認ができるため効率的な議会運営につながる。今後、有効に活用していきたい。